

安心・安全なテレワーク環境を実現！

USBブート型シンククライアント

Virtual Connect ご紹介

Dynabook 株式会社

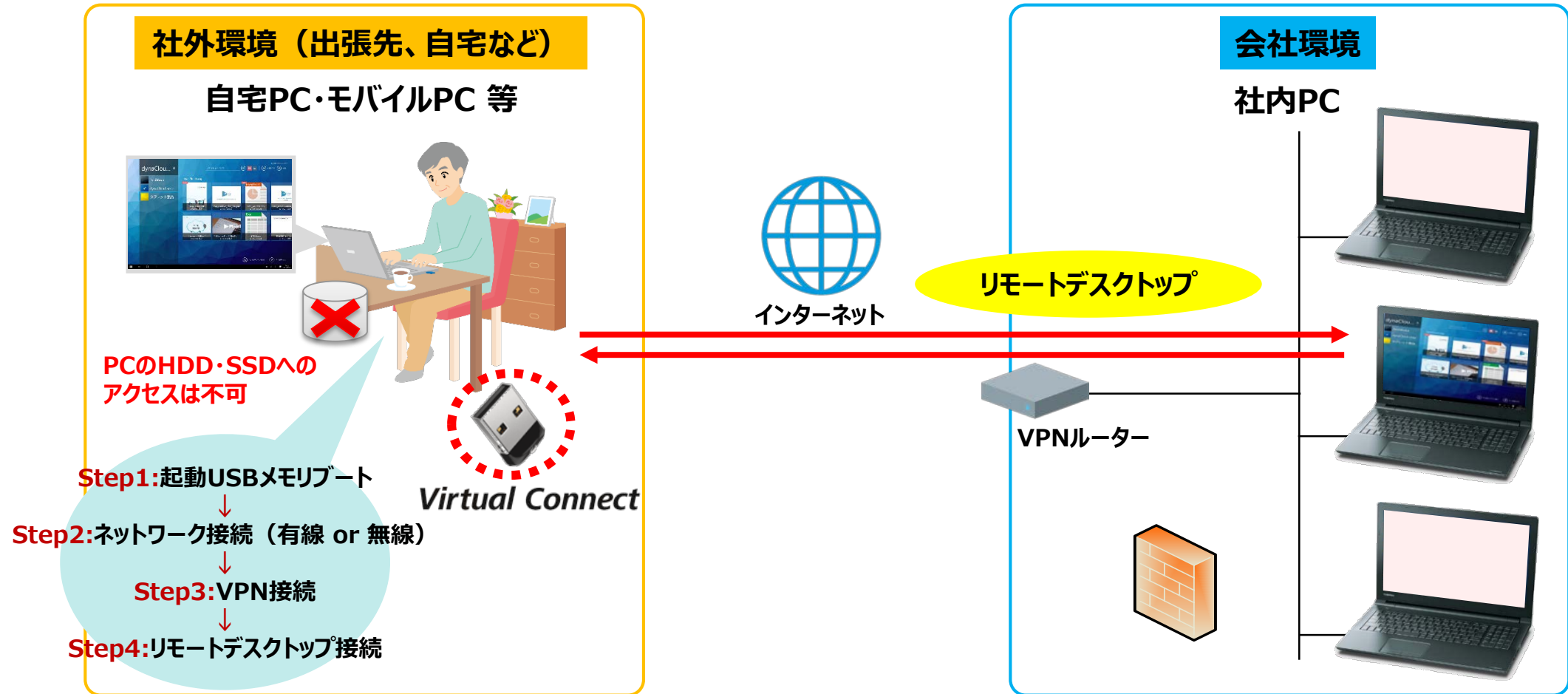
国内サービス事業本部

2022年1月



Virtual Connect 概要

- 専用の起動USBメモリを使用してPCを起動（ブート）することにより、PCをシンクライアントとして利用できるソリューション。
- 社外環境（出張先、自宅など）からVPNを経由して会社内のPCに接続、リモートデスクトップクライアントとして動作。



Virtual Connect 利用シーン (ターゲット)



在宅勤務 (自宅のPCで)

- 在宅ワーク
- モバイルワーク
- サテライトオフィス



外出先の移動時間 (喫茶店で)



出張先の移動時間 (列車の中で)



出張先 (ホテルで)



外出先の移動時間 (公園で)

Virtual Connect 特長

- USBから起動出来るPCとVPN環境があれば、社外から会社内のPC環境を利用するためのシンクライアント環境を簡単に導入出来ます。
- 起動USBメモリで起動したPCの記憶デバイス（HDD/SSD・USBメモリなど）にはアクセスできません。重要な情報を持ち出すことができないため、情報漏えいを防止できます。
- 起動USBメモリには、接続のためのパスワードは保存しませんので、起動USBメモリを紛失しても安心です。

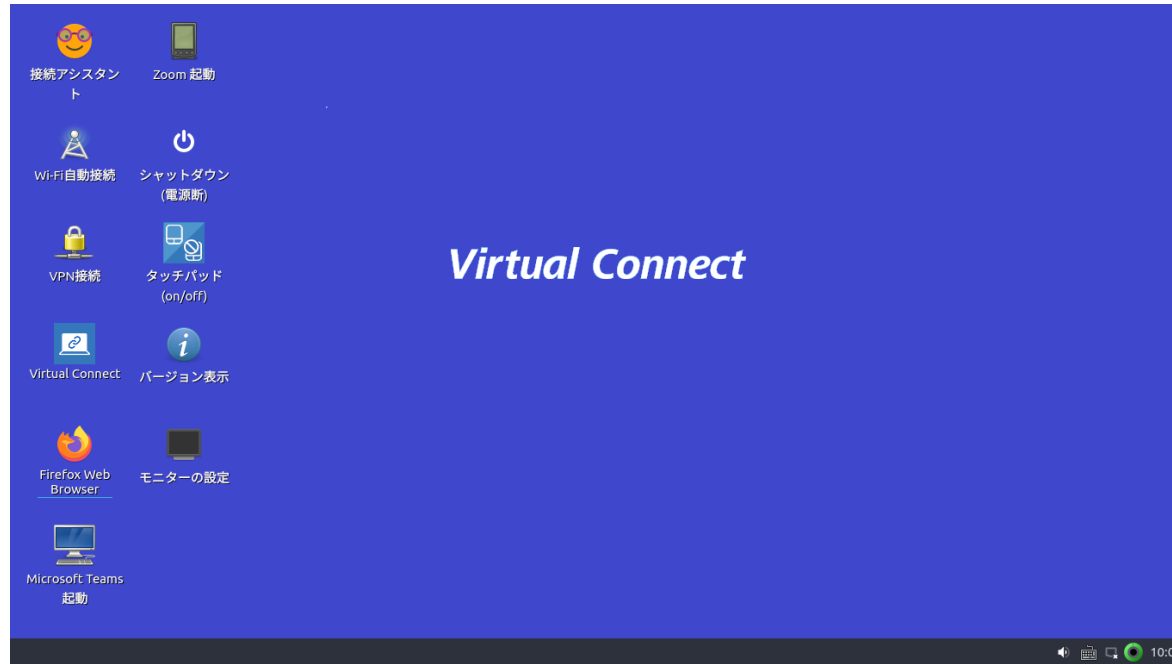
企業の課題

- 既存の環境を生かしてシンクライアントを導入したい
- テレワークでセキュリティを高めたい
- 在宅ワークなど多様なワークスタイルに対応したIT環境を導入したい
- 緊急事態に備えて業務が継続できるソリューションを検討したい

高いセキュリティ
使いやすい操作性



Virtual Connect 起動（デスクトップ）画面



【アプリケーション関連のアイコン】



ガイダンスを見ながらネットワーク接続、VPN接続、リモートデスクトップ接続を行います。



Virtual Connectメンテナンスツールで設定したWi-Fiのアクセスポイントに接続します。



VPN接続を開始します。



リモートデスクトップ接続を開始します。



WEBブラウザ（Firefox）を起動します。



Microsoft Teamsクライアントソフトのダウンロード・インストール・起動を行います。



Zoomクライアントソフトのダウンロード・インストール・起動を行います。

【システム関連のアイコン】



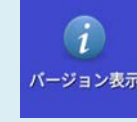
Virtual Connectを終了し、端末（PC、タブレット等）をシャットダウンします。



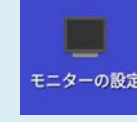
タブレット端末を使用する時にソフトウェアキーボードを表示します。



タッチパッドの有効（On）、無効（Off）を切り換えます。



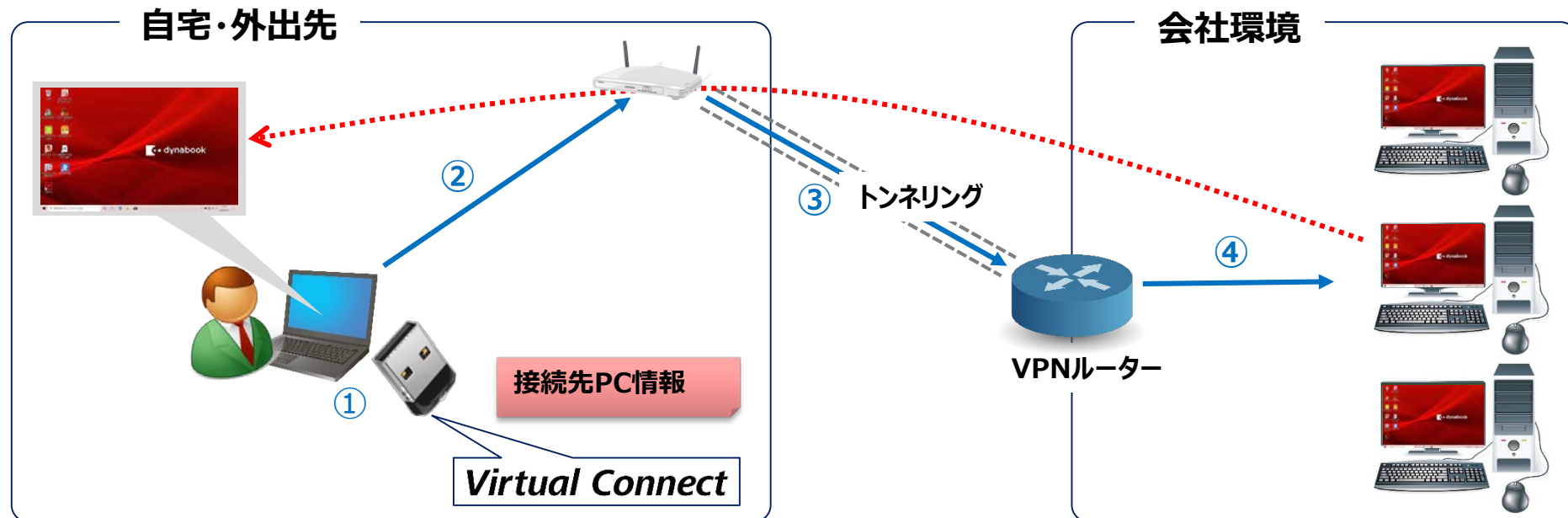
Virtual Connectのバージョン情報を表示します。



外部ディスプレイと2画面表示で使用する場合に、ディスプレイの設定を行います。

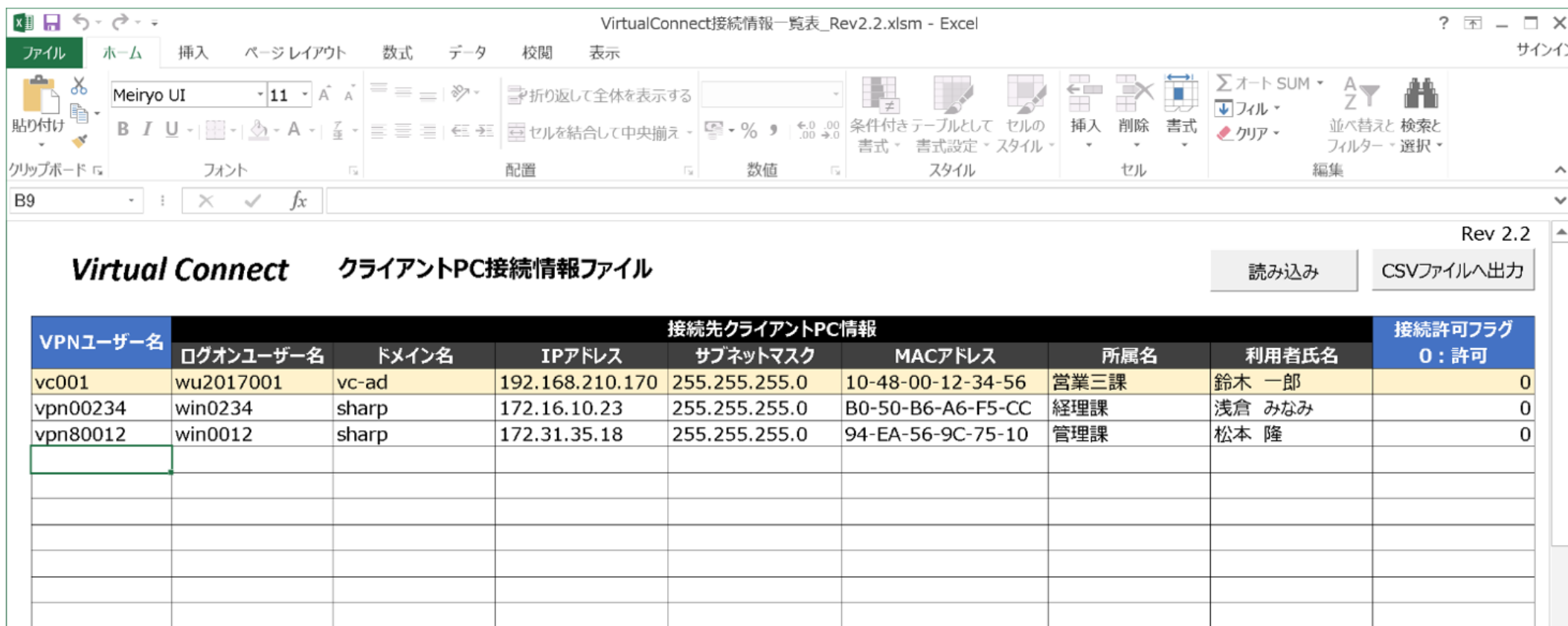
Virtual Connect 接続手順（基本）

- ① *Virtual Connect*（起動USBメモリ）からPCを起動
- ② 有線ネットワーク、Wi-Fiなどでインターネットに接続
- ③ 会社のVPNルーターに接続（VPNユーザー名、パスワードは手動入力）
- ④ 接続先PCの情報（**IPアドレス、ログオンユーザー名、ログオンパスワード、ドメイン名**）を入力して、会社のPCにリモートデスクトップ接続



Virtual Connect クライアントPC接続情報

- クライアントPC接続情報ファイルは専用ツールにて暗号化後、Virtual Connectの起動USBメモリに格納。
- VPN接続で入力したVPNユーザ名に対応した接続先クライアントPC情報にてリモートデスクトップ接続。利用者はリモートデスクトップ接続のパスワードを入力するだけ。



VirtualConnect接続情報一覧表_Rev2.2.xlsm - Excel

Rev 2.2

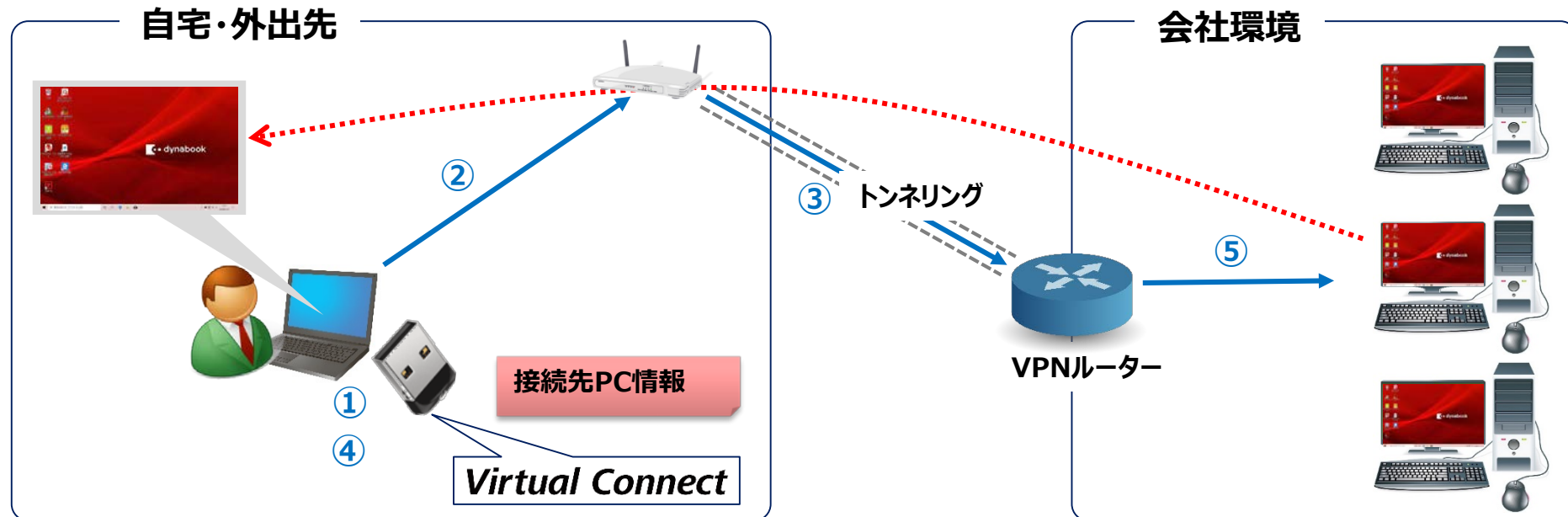
Virtual Connect クライアントPC接続情報ファイル

読み込み CSVファイルへ出力

VPNユーザー名	接続先クライアントPC情報							接続許可フラグ
	ログオンユーザー名	ドメイン名	IPアドレス	サブネットマスク	MACアドレス	所属名	利用者氏名	0：許可
vc001	wu2017001	vc-ad	192.168.210.170	255.255.255.0	10-48-00-12-34-56	営業三課	鈴木 一郎	0
vpn00234	win0234	sharp	172.16.10.23	255.255.255.0	B0-50-B6-A6-F5-CC	経理課	浅倉 みなみ	0
vpn80012	win0012	sharp	172.31.35.18	255.255.255.0	94-EA-56-9C-75-10	管理課	松本 隆	0

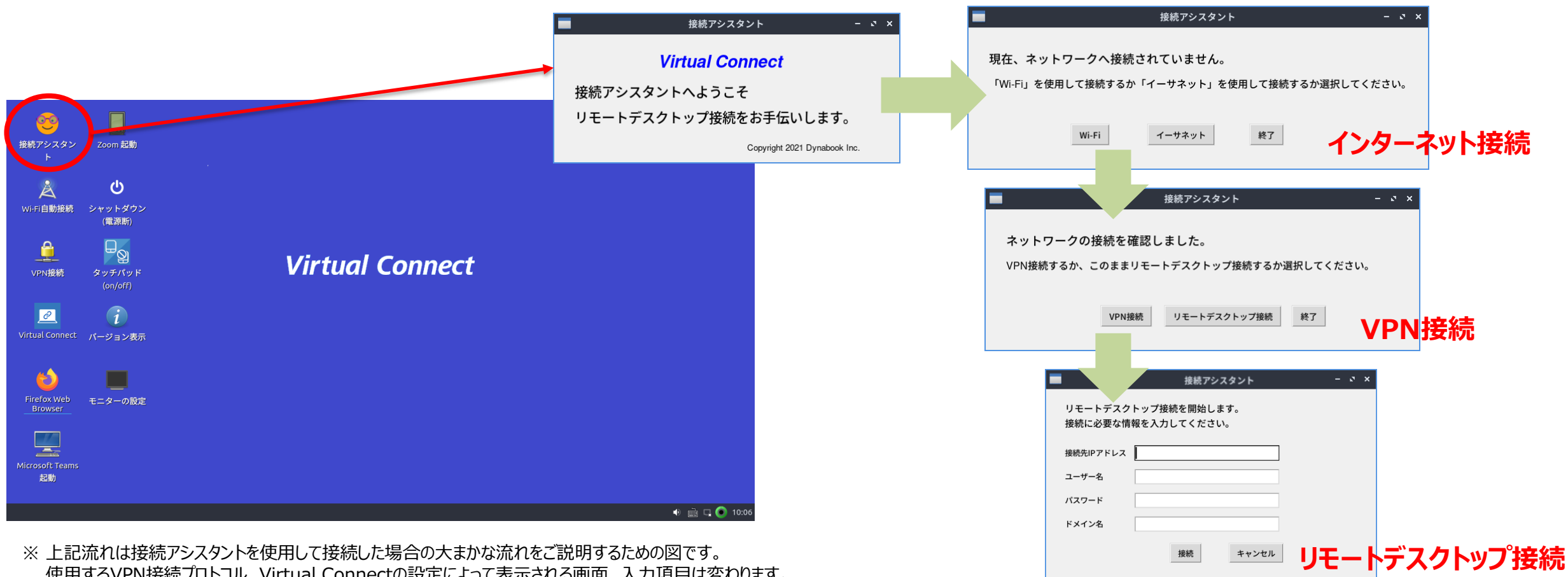
Virtual Connect 接続手順（クライアントPC接続情報）

- ① Virtual Connect（起動USBメモリ）からPCを起動
- ② 有線ネットワーク、Wi-Fiなどでインターネットに接続
- ③ 会社のVPNルーターに接続（VPNユーザー名、パスワードは手動入力）
- ④ ③のVPN接続時に入力したVPNユーザー名から接続先PCの情報（IPアドレス、ログオンユーザー名等）を起動USBメモリ内のクライアントPC接続情報から取得
- ⑤ 会社のPCにリモートデスクトップ接続（ログオンパスワード入力が必要）



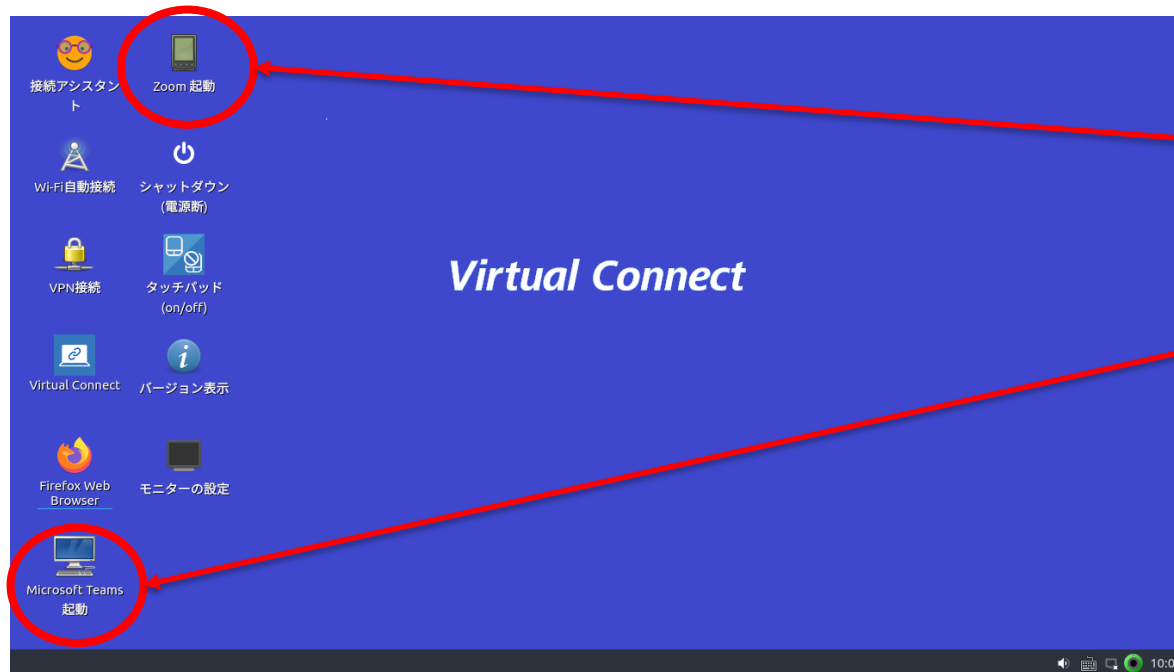
接続アシスタント

- *Virtual Connect* での接続に必要な操作（ネットワーク接続、VPN接続、リモートデスクトップ接続）をガイダンスを見ながら行う機能。
- 簡単な操作でネットワーク接続、VPN接続、リモートデスクトップ接続が可能。

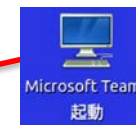


Microsoft Teams・Zoomクライアント機能

- **Virtual Connect** では、Microsoft Teams・Zoomクライアント ソフトを起動USBメモリにインストールして、Microsoft Teams・Zoomを利用することが可能。
- Microsoft Teams・Zoomクライアント ソフトは、デスクトップ上の各アイコンを起動することにより、各クライアントソフトのダウンロード ⇒ インストール ⇒ 起動を一連の流れで実行。
- Microsoft Teams・Zoomクライアント ソフトを利用する場合は、インターネット接続が必要で、VPN接続は不要。



Zoomクライアントソフトのダウンロード・インストール・起動を行います。



Microsoft Teamsクライアントソフトのダウンロード・インストール・起動を行います。

※ Virtual Connectを終了すると、インストールされた各クライアントソフトはすべて起動USBメモリから消えます。次回、アイコン起動時に再度アプリケーションのダウンロード・インストールが行われます。

※ Microsoft Teams、Zoomの設定によっては、Virtual Connectをシャットダウンすると既定値（初期状態）に戻るものがあります。

Virtual Connect 動作環境

● 接続先PC

- ✓ Windows 8.1 (Home除く)
- ✓ Windows 10 (Home除く)
- ✓ Windows 11 (Home除く)
- ※ リモートデスクトップが有効で、PCが起動していること。

● クライアントPC (接続元PC)

- ✓ USBメモリから起動 (ブート) 可能で、Lubuntuの最新バージョンが動作するx86系64bit CPU搭載PC
- ✓ メモリ 2GB以上

● VPN環境

- ✓ IKEv1/IPsec (Fortigate)
- ✓ SSL-VPN (Fortigate)
- ✓ L2TP/IPsec ASE128 (YAMAHA)
- ✓ L2TP/IPsec 3DES (Windows Server)
- ✓ AnyConnect® (Cisco)
- ✓ OpenVPN (Allied Telesis)
- ✓ PPTP
- ※ OpenVPNでは、CA証明書が必要です。

● インターネット接続環境

- ✓ 有線接続
- ✓ 無線 (Wi-Fi) 接続

Virtual Connect 商品体系・価格

■ Virtual Connect 本体

商品型番：42JST260（42TSL260） 希望小売価格：オープン

- 起動USBメモリ（標準設定）※ストラップ付
- 操作説明書&管理ツール CD（メンテナンスツール、クライアントPC接続情報ツール含む）
- ライセンス証書&ソフトウェア使用許諾書



■ Virtual Connect サポート

商品型番：42JSL261（42TSL261） 希望小売価格：オープン

- ヘルプデスクのご案内（1年契約）

■ Virtual Connect カスタマイズ

商品型番：42JSL262（42TSL262） 都度見積

- 標準設定のVirtual Connect 本体をカスタマイズするための役務メニュー

※1 起動USBメモリの紛失・破損時は、別途費用がかかります。

Virtual Connect ラインナップ

「Virtual Connect」

新機能

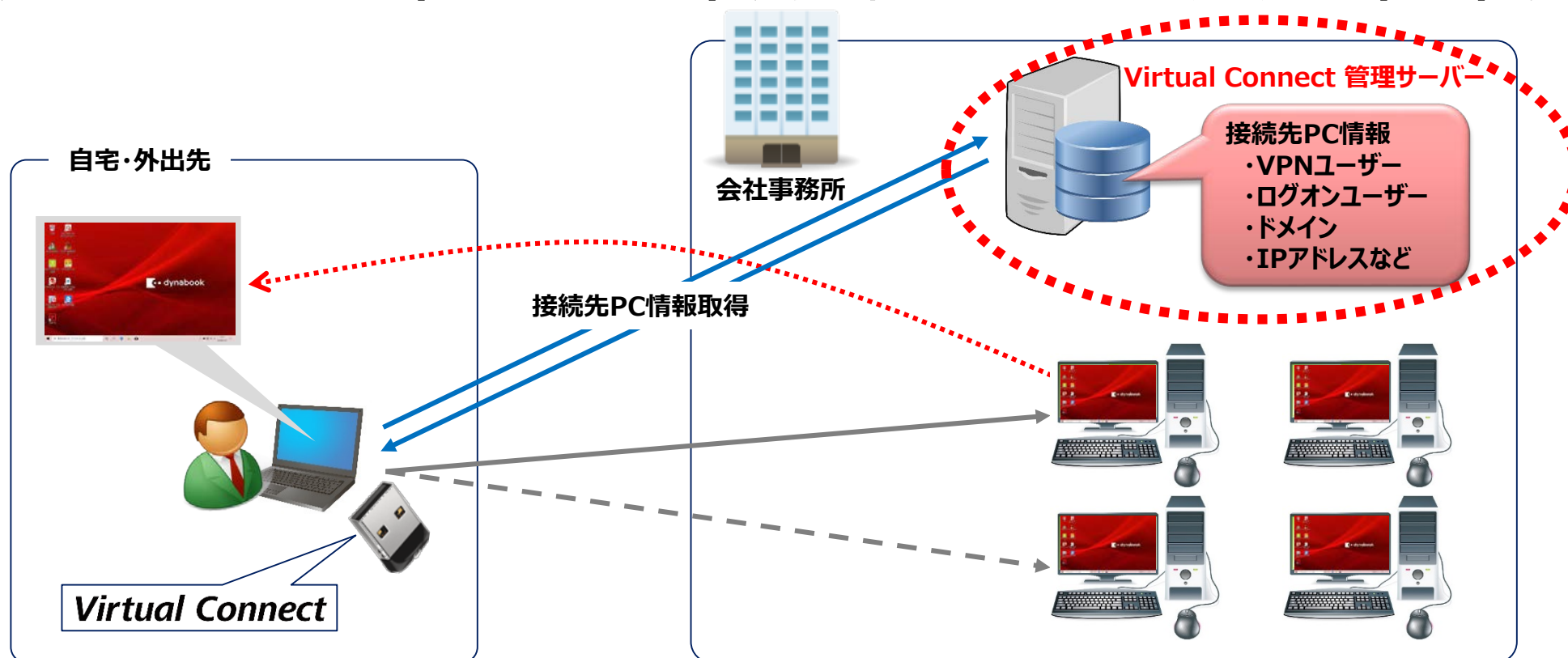
「Virtual Connect 管理サーバー」

新機能

「Virtual Connect Wake On LANサーバー」

Virtual Connect 管理サーバーソフト オプション

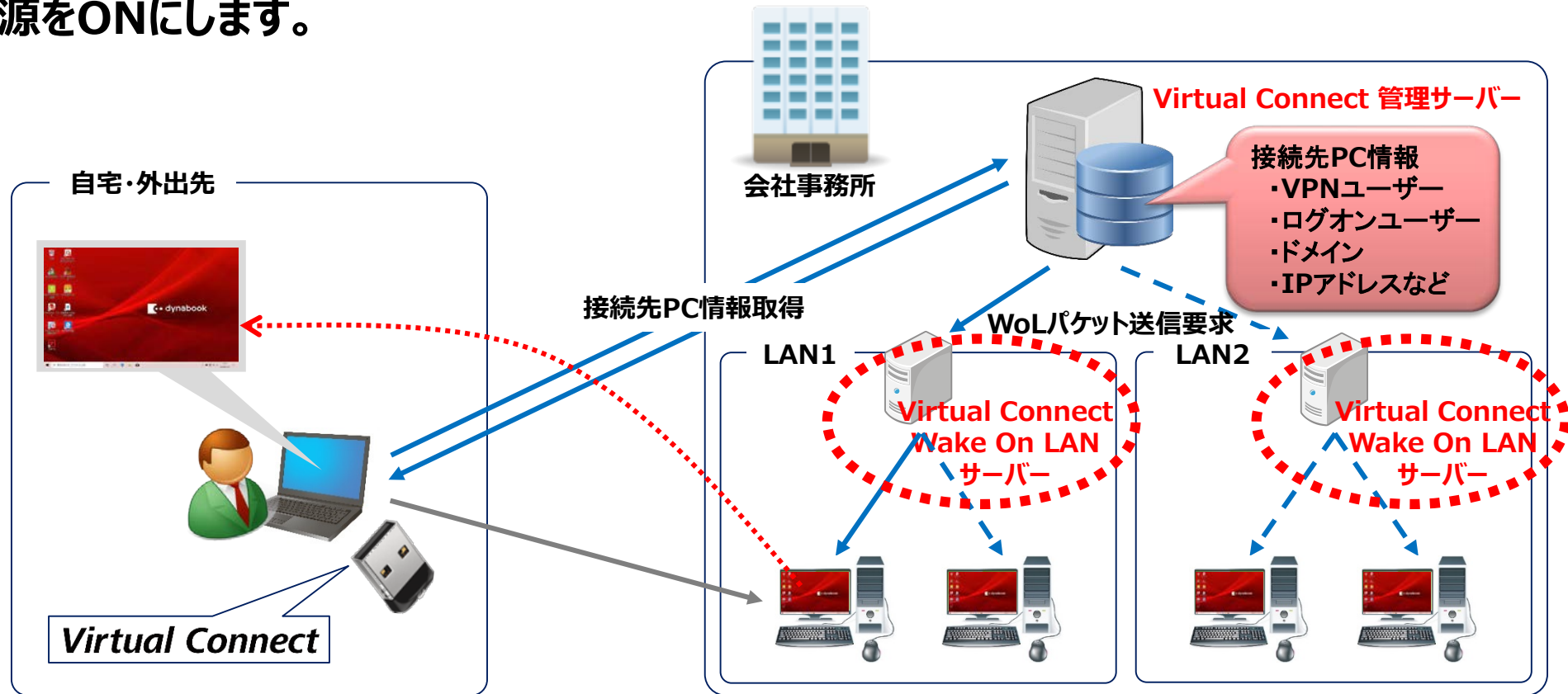
- *Virtual Connect* 管理サーバーをお客様環境内に設置することにより、起動USBメモリ内にPC接続情報を格納せずに、VPN接続時に入力した情報（ユーザー名、パスワード）と、あらかじめ管理サーバー内に登録されているリモートデスクトップ接続パラメータに従って、接続先PCのIPアドレス、ログオンユーザー名を自動入力。
- 紛失した*Virtual Connect*（起動USBメモリ）から接続先PCへのアクセスを遮断（禁止）することも可能。



※ Virtual Connect 管理サーバーご利用にあたっては、「Virtual Connect 管理サーバーソフト」の他、「Virtual Connect 本体」、サーバー（ハードウェア）、サーバー構築等が必要です。

Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト オフショーン

- Virtual Connect Wake On LANサーバーをお客様環境内（ネットワークセグメント毎）に設置することにより、接続先のPCが電源OFFの場合、Wake On LANパケットにより同一ネットワークセグメント内のPC電源をONにします。



※ Virtual Connect Wake On LANサーバーご利用にあたっては、「Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト」の他、「Virtual Connect 本体」、「Virtual Connect 管理サーバーソフト」、サーバー（ハードウェア）、構築等が必要です。

※ 「Virtual Connect Wake On LANサーバー」は、Wake On LANを行うネットワークセグメント毎に必要です。

※ 接続先のPCでBIOSパスワードやHDDパスワードが設定されている場合や、HDD暗号化ソフトなどでOS起動前の認証が入る場合は、Wake On LANでは起動できません。



※ ご導入にあたっては、事前にお客様環境にて検証をお願いいたします。詳しくは、弊社営業までお問い合わせください。

※ 本製品は、日本国内でのご使用をお願いいたします。本製品の海外への持ち出しは禁止いたします。本製品は、「外国為替および外国貿易法」等日本国および米国ならびにその他諸外国の輸出、再輸出または輸入に関連する法令等により規制の対象となる場合がありますので、同法遵守のうえ、ご使用をお願いいたします。

● Microsoft、Microsoft Teams、SQL Server、Teams、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。● Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の商標です。● Cisco、Cisco AnyConnectは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.あるいはその関連会社の登録商標または商標です。● OpenVPNは、OpenVPN Inc.の商標です。● YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標または商標です。● Allied Telesisは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標または商標です。● その他の本カタログに記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。■ 写真はすべて本カタログ用に撮影したもので、実際の使用状況と異なる場合があります。■ 本カタログに記載された内容は改良のため予告なく変更することがあります。